

みやぎ 宮城の子どもたちへ

ひがしにほんだいしんさい
東日本大震災において、

かたがた いのち
多くの方々のかけがえのない命がうばわれました。

わたしたちは、この大震災をけいけんし、

にどとこのようなことが起きないために、

しんさい きょうくん
震災の教訓を

語りついでいかなければなりません。

わたしたちは、宮城のゆたかな自然から

多くのめぐみを受けて、生活をしています。

しかし、時として自然は、

命をおびやかす災害をもたらすことがあります。

わたしたちは、自然のすばらしさを感じながら、

災害への備えをしなければなりません。

そうすることが、自分の命を守り、

まわりの人の命も守ることになるのです。

みんなの命を守り、

みらい
未来の子どもたちの命を守るために

みやぎけん ぼうさいきょういくふくどくほん
宮城県では、みやぎ防災教育副読本

「未来へのきずな」を作成しました。

みなさんは、しょうらい、どんな災害があっても、

みんなて助け合い、生きぬいていかなければなりません。

そのために、

この副読本をつか、防災について考え、行動し、

かそくともだち
家族や友達、地いきのきずなを大切にしていきましょう。

2014 (平成26) 年3月11日

みやぎけんきょういくいんかい
宮城県教育委員会